

東日本大震災復興シンポジウム2014（東京大会）

大会宣言

東日本大震災の発生から4年目を迎えた今日、その爪痕は被災地域だけでなく、わが国全体に大きな歪みが生じております。

被災地域の一日も早い復興を願うとともに、復興はわが国が長期的に目指すべき社会構造を見据えた21世紀の日本の再生モデルとなることが期待されています。また、今後想定しうる大規模地震災害への備えも全国レベルで取り組むべき喫緊の課題です。

こうした問題意識に立脚し、全国の私立大学および私立短期大学関係者は、この3年間の取り組みとその成果を確認しながら、被災学生や被災大学に対する支援の取り組みを決して風化させることなく継承するとともに、被災地東北の復興と新たな日本の創生に向け、以下の通り行動することを強く決意し、宣言いたします。

1．私立各大学と短期大学は、東日本大震災からの復旧・復興に向け、次の取り組みを推進します。

- (1) 被災地から未来型の教育モデル作りや防災教育を推進し、全国レベルにて共有
- (2) 被災学生への修学支援強化
- (3) 被災地域における大学の地域復興センター機能の整備
- (4) 被災地域における産業育成への貢献

2．日本私立大学団体連合会と日本私立短期大学協会は、東日本大震災からの復旧・復興に向けた基盤整備の実現を目指し、次の要望を国等へ求めます。

- (1) 被災学生への授業料減免措置と給付型奨学金制度創設など修学支援の継続・拡充
- (2) 東日本大震災の復旧・復興に向けた新たな教育モデルの開発・普及の実現化支援
- (3) 私立大学等の耐震化促進と防災にかかる支援の拡充・強化
- (4) 原子力災害の収束と再生可能なエネルギー開発に向けた技術革新の支援

平成26年8月8日

日本私立大学団体連合会
日本私立短期大学協会